

案件概要書

2018 年 4 月 24 日

1. 基本情報

- (1) 国名：インドネシア
- (2) 案件名：課題別研修「海図作成技術－航行安全・防災の為に－（国際認定B級）」
- (3) 参加者：インドネシア海軍海洋業務センター職員 1 名を含む計 10 名
- (4) 計画の要約：水路測量又は海図作成を担う各国政府及び政府関係機関に在籍する技術者を対象とし、海図作成及び海洋情報の収集・活用能力の向上を目的とするもの。研修修了者は、国際的な基準である水路測量国際B級認定技術者と認定される。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義：インドネシアは ASEAN 最大の人口と国土を有する ASEAN の中核国であり、世界最大のイスラム人口を抱え、マラッカ海峡を始め重要な海上交通路の要衝に位置し、同国の安定は我が国を含むアジア全体の安定と繁栄に不可欠である。近年は政治的安定と順調な経済成長を実現し、東南アジア唯一の G20 メンバーとして国際場裏での役割を拡大してきており、気候変動対策や民主化支援などアジア地域及び国際社会の課題に対しても積極的に取り組んでいる。また、同国は、民主主義や人権、市場経済といった基本的な価値観を我が国と共有し、かつ幅広い国民レベルでの長い友好関係を有する戦略的パートナーである。
インドネシアに対する援助の重点分野は、①更なる経済成長への支援、②不均衡の是正と安全な社会造りへの支援、③アジア地域及び国際社会の課題への対応能力向上のための支援、と定められており、本研修は③の一環として、インドネシアがアジア地域の抱える海上安全の問題に適切に対応していくための支援として重要といえる。
- (2) 当該国におけるアジア地域及び国際社会の課題への対応能力向上における開発の現状・課題及び本計画の位置付け：インドネシアは G20 のメンバーとなり、世界政治経済における発言力を拡大させるとともに、国際的・地域的課題、南南協力に対しても積極的な取り組み姿勢を示している。特に ASEAN 内の政策協調・制度改善や、民主化の経験共有などにおいて主導的な役割を果たすことが期待されている。本件は、インドネシアのみならず、我が国を含む近隣諸国にとっても重要な課題である海上保安に係る能力向上に資するもの。

3. 計画概要

- (1) 計画概要：海図は海上交通の安全を確保し海上貿易を成長させるために重要な社会基盤であるのみならず、津波や油流出等の大規模災害などに係る防災や海洋の環境保全の施策立案にも不可欠である。しかし、開発途上国においては、人材不足が一因で海図整備が未だ不十分であるため、海図作成及び海洋情報の

収集・活用能力の向上を目的として、本研修を実施するもの。海図作成に必要な理論的基盤や、海図作成の実務海図データの利活用に関する講義や、港湾での船上実習等を経て、海図作成技術を習得することで、水路測量国際認定B級を取得することができる。

(2) その他特記事項：特になし

以 上